

イーストアイ・セーフティーアーム®シリーズ セーフティーアームウォーカー スタンダードMタイプ/ハイMタイプ/ミニMタイプ (品番：SAWMR/SAWMHR/SAWMSR)

取扱説明書

この度は「イーストアイ・セーフティーアームウォーカー スタンダードMタイプ/ハイMタイプ/ミニMタイプ」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

この「イーストアイ・セーフティーアームウォーカー スタンダードMタイプ/ハイMタイプ/ミニMタイプ」は、室内専用の歩行・立ち上りを補助するための製品です。

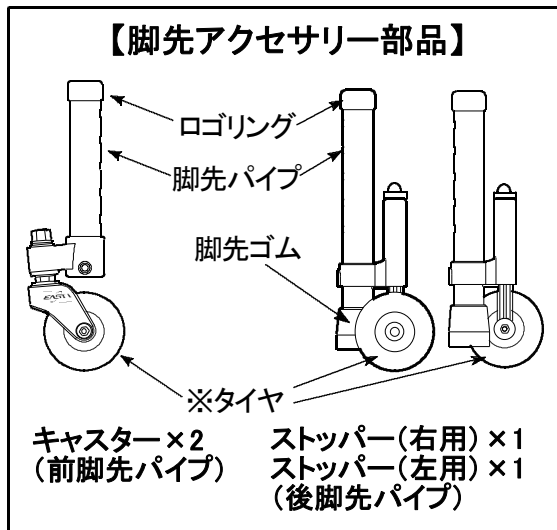
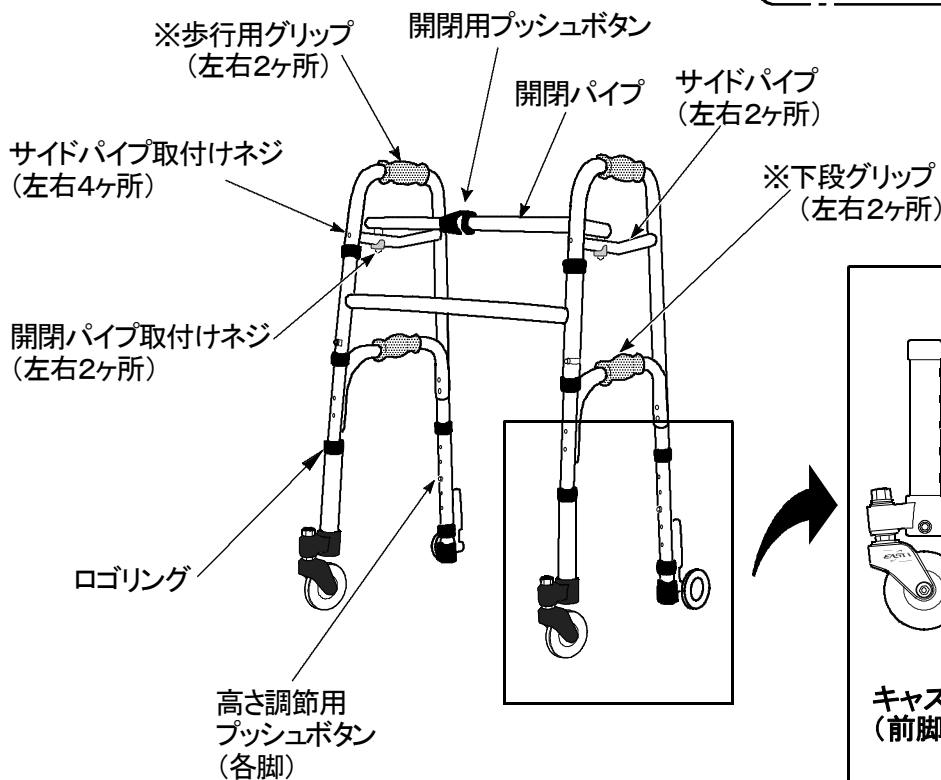
ご使用前に専門家(医師、理学療法士、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員など)にご相談ください。

また、長期間ご使用される間に使用者の症状が変わる場合がありますので、定期的に専門家にご相談ください。

用具選定の際の適合が十分でなかったり、無理な使用をすることにより、症状の悪化や転倒事故などが起きる原因になります。

【各部の名称】

※グリップの養生用ラップをはがしてからご使用ください




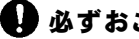


【目次】

- ・各部の名称……………1P
- ・警告表示の説明……………2P
- ・使用条件……………2～3P
- ・使用上の警告と注意……………3～9P
- ・ご使用前の準備……………10～11P
- ・ご使用方法……………11P
- ・お手入れの方法……………12P
- ・お手入れの際のチェックポイント……………12～13P
- ・グリップの交換方法……………14P
- ・基本仕様……………15P
- ・安全に製品をご使用いただくために……………16P







【警告表示の説明】

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

<p>警告表示 :  警告</p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p>警告表示 :  注意</p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>図記号 :  禁止</p> <p>使用の際に「してはいけない内容(禁止)」を示しています。</p>	<p>図記号 :  必ずおこなう</p> <p>使用の際に「必ずお守りいただく内容(実行)」を示しています。</p>

【使用条件】

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

 警告	
<p style="text-align: center;">誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。</p>	
<p>専門家の指示に従う</p> <p> 必ずおこなう</p>	<p>●この「セーフティーアームウォーカー スタンダードMタイプ/ハイMタイプ/ミニMタイプ」は、室内での歩行・立ち上がりを補助するための製品です。ご使用前に専門家(医師、理学療法士、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員など)にご相談ください。また、長期間ご使用される間に使用者の症状が変わる場合がありますので、定期的に専門家にご相談ください。専門家の判断のもと、使用する場合は次の警告・注意事項をご確認ください。</p> <p>○用具選定の際の適合が十分でない場合や、無理な使用をすることにより、症状の悪化や転倒事故などが起きる原因になります。</p>
<p>グリップを握ることができない方は使わない</p> <p> 禁止</p>	<p>●グリップをしっかり握ることができない方、両手で身体を支えることができない方は使用できません。また、つかまり立ち、伝い歩きができない方は使用できません。</p> <p>○身体の動きと製品の動きがあわないと、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。</p>
<p>偏った荷重をかけない</p> <p> 禁止</p>	<p>●グリップへ左右均等に体重をかけることができない方は使用できません。</p> <p>○偏った力をかけて使用すると、製品が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。</p>
<p>体力や状態に応じて介助の方が付き添う</p> <p> 必ずおこなう</p>	<p>●自立歩行に不安のある方は、必ず介助の方が付き添いご使用ください。使用者の体力や状態、使用場所に応じて、介助の方が付き添いご使用ください。また、使用者の体力や状態に応じて介助の方が開閉動作やご使用前の準備をおこなってください。 * 身体の状態により、歩行時に、フレーム、タイヤなどへ身体の一部が当たることに気付くことが難しい場合には、必ず介助の方が付き添いご使用ください。</p> <p>○誤った使用方法をすると使用者や製品が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。</p>
<p>ご使用前に各部を点検、メンテナンスする</p> <p> 必ずおこなう</p>	<p>●製品は使用とともに劣化が進みます。取扱説明書をご参照の上、ご使用前に各部を点検し、メンテナンスしていただきますようお願い申し上げます。この製品の保証期間はご購入日より1年間です。なお保証期間を超過し、長年ご愛用いただいております製品につきましては、特に注意して定期点検をしてください。保証期間内、または期間を超過した製品につきましても、製品に異常が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先: 16頁』または発売元までお問合せください。</p>

【使用条件】 続き

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。



警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

子供は使用しない

●子供はこの製品を使用しないでください。



禁止

○思わぬ行動をとったり、誤った使用方法をする製品が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

【使用上の警告と注意】

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

1. 本製品の使用前に確認すること



警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

プッシュボタンの
ロックを確認



❗必ずおこなう

- 開閉用プッシュボタンが大きく飛び出た状態にロックされていることを確認してご使用ください。ロックできない場合は「カチッ」と音がするまで、2～3度ゆっくり開いてください。
 - ご使用中に歩行器が折りたたまれて不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
 - 高さを調節する際、脚先パイプの高さ調節用プッシュボタンが4ヶ所とも大きく飛び出た状態にロックされていることをご確認ください。プッシュボタンを深く押しすぎると中に入り込んでしまう場合があります。この場合は一度、脚先パイプをはずし、プッシュボタンを出してからセットし直してください。
 - ご使用中に本体が下がり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。
- * プッシュボタンに異常が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先: 16頁』または発売元までお問合せください。

脚先パイプは
同じ穴位置にセット
❗必ずおこなう

- 脚先パイプは各脚とも同じ高さの穴位置にプッシュボタンをセットしてご使用ください。
- 歩行器が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

グリップの
点検と確認

❗必ずおこなう

- ご使用前に、グリップの「ネジのゆるみ」「ぐらつき」「破れ」などが無いことをご確認ください。
 - ご使用中にグリップがはずれる、破損するなど思わぬ事故の原因になります。異常がある場合は即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先: 16頁』または発売元までお問合せください。
 - ゆるんだグリップ取付けネジを繰り返し締め付け直さないでください。「グリップ取付けネジのゆるみ」が見られる場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先: 16頁』または発売元までお問合せください。
 - グリップは、溝が切られていないネジ受けにネジを締め込むことでしっかりと固定されます。そのため、ゆるんだグリップ取付けネジを繰り返し締め付け直すと、ネジがゆるみやすくなり、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因となります。
- * グリップは消耗品です。グリップに摩耗や変形、ぐらつき、ネジのゆるみなどが見られた場合は交換してください。グリップの交換につきましては、『グリップの交換方法: 14頁』をご参照ください。

ネジのゆるみを確認
❗必ずおこなう

- ご使用前にネジやボルトのゆるみがないかご確認ください。タイヤ取付ボルトや各部の取付けネジは、ご使用とともにゆるみが出る場合があります。ゆるみがある場合は締め直してからご使用ください。
 - * ネジやボルトを締めつけすぎると、動きが悪くなる場合があります。ネジやボルトを締め直した際に動きが悪くなった場合は、少しだけゆるめるなどして動きをご確認ください。
- ネジやボルトのゆるみがあるとタイヤや本体フレームがはずれたり、脱落して歩行器が固定されず不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

次の頁に続く

1. 本製品の使用前に確認すること (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

指はさみに注意



●高さ調節時や歩行器の折りたたみ時に指をはさまないようにご注意ください。

ガタつきに注意



●本体に無理な力がかかることで、ガタつきが出る場合があります。ご使用前に必ず、本体にガタつきがないことをご確認ください。ガタつきがある場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16頁』または発売元までお問合せください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

タイヤのすり減りを確認



●ご使用前に必ず、タイヤ(前・後)のすり減りがいいことをご確認ください。タイヤは消耗品です。

確認の際にすり減りがひどい場合には、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16頁』または発売元までお問合せください。

○本体がガタつくなど安定した走行ができなくなる原因になります。

ロゴリングのずれ、白樹脂のはずれを確認



●本体各部のロゴリングがずれた場合や本体脚先の白樹脂がはずれた場合は、はめ直してください。はめ直し方については、『3.高さの調節:10頁』をご参照ください。

○脚先パイプと本体の間にすき間ができてカタカタ音がしたり、歩行器がガタつく原因になります。

脚先ゴムの確認



●脚先ゴムにすり減りや切れがないことをご確認ください。

また、脚先パイプに脚先ゴムが奥まで入っていることをご確認ください。

入っていない場合は、奥までしっかりと差し込んでください。

* 脚先ゴムは消耗品です。確認の際にすり減りがひどい場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16頁』または発売元までお問合せください。

○本体が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

2. 使用方法についての警告と注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

⚠ 警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

左右のグリップを握って使用

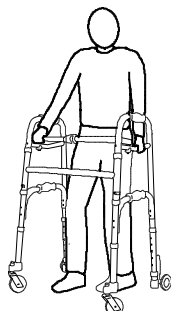


●歩行時には、左右の「歩行用グリップ」を、立ち上がる際は左右の「下段グリップ」をしっかり握りご使用ください。

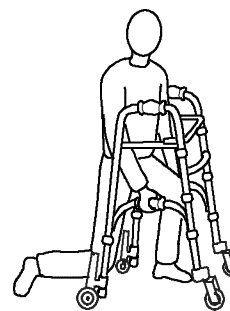
○片手での使用、グリップ以外を握っての使用は、指をはさんだりパイプの破損や転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。



歩行時は
グリップを
しっかり握る！



グリップ以外は
握らない！



立ち上がる時は
下段グリップを
しっかり握る！

次の頁に続く

2. 使用方法についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

警告

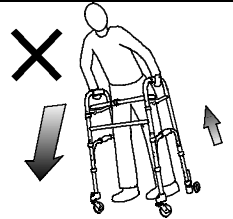
誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

左右のグリップに
均等に体重をかける

❗ 必ずおこなう

●必ず両手で左右のグリップを握り、左右均等に体重がかかるよう
ご使用ください。左右のグリップに偏った力をかけて使用しないでください。

○偏った力をかけて使用すると、歩行器が不安定になり、
転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。



立ち上がり、移乗の
際は、左右のグリップを
握り、ストッパーを
作動させる

❗ 必ずおこなう

●立ち上がり、歩行器への移乗、または歩行器から移乗する際は、必ず左右のグリップを
しっかり握り、左右のストッパーを作動させください。
また、必ず介助の方が付き添いご使用ください。

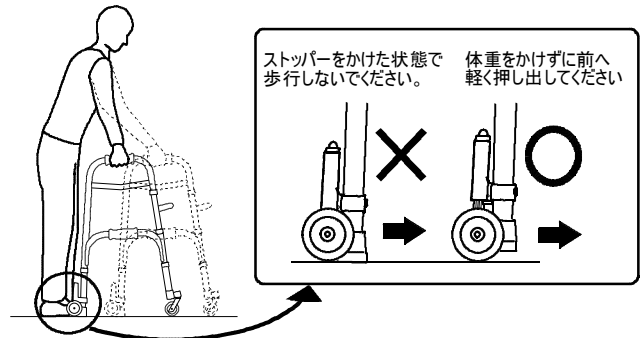
○歩行器が急に動きだし、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

ストッパーを作動
させたまま移動しない

⊘ 禁止

●ストッパーをかけた状態で、歩行器を引きずり、歩行しないでください。
歩行器を動かす際には、上から体重をかけずに前へ軽く押し出してください。
正しい歩行方法については『ご使用方法:11頁』をご参照ください。

○後タイヤの摩耗、
ストッパーの破損など
思わぬ事故の原因になります。



開閉パイプ、
サイドパイプに
力をかけない

⊘ 禁止

●開閉パイプ、サイドパイプにつかまりながら立ち上がったたり、歩行しないでください。

○開閉パイプ、サイドパイプは本体をたたんだり、開いたりするための補助的なパイプです。
力をかけると、パイプが破損して転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

走って使用しない

⊘ 禁止

●歩行器を使用して走らないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

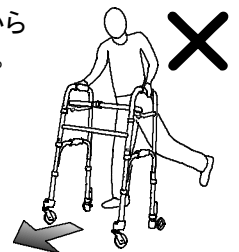
歩行器を前に進め
過ぎない

⊘ 禁止

●歩行器を一度に前に押し過ぎないでください。歩行器を軽く前に押し、真上から
体重をかけて、ストッパーを作動させた状態で、身体を前へ移動してください。

*ストッパーは真上から体重をかけることで作動します。
正しい歩行方法については『ご使用方法:11頁』をご参照ください。

○ストッパーが作動しづらくなり、転倒によるケガなど
思わぬ事故の原因になります。



身体の後ろに置いて
使用しない

⊘ 禁止

●歩行器を身体の後ろに置いて歩行しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

折りたたんだ
状態で使用しない

⊘ 禁止

●折りたたんだ状態で使用しないでください。

○不安定な状態で使用すると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

次の頁に続く

2. 使用方法についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

ストッパーの留め具
をはずさない

- ストッパーに付いている留め具をはずさないでください。
*『ご使用方法:11頁』をご参照ください。

禁止

- 留め具をはずすとストッパーのシャフトがはずれ、本体が不安定になり、転倒によるケガなど
思わぬ事故の原因になります。

2. 使用方法についての警告と注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される
内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

介助の方が
付き添い使用

必ずおこなう

- 自立歩行に不安のある方は、必ず介助の方が付き添いご使用ください。
使用者の体力や状態、使用場所に応じて、介助の方が付き添いご使用ください。
また、使用者の体力や状態に応じて介助の方が開閉動作やご使用前の準備をおこなってください。
* 身体の状態により、歩行時に、フレーム、タイヤなどへ身体の一部が当たることに
気付くことが難しい場合には、必ず介助の方が付き添いご使用ください。

- 誤った使用方法をすると使用者や製品が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

3. 使用場所についての警告と注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が
想定される内容を説明しています。

平らな場所で使用

必ずおこなう

- 穴やくぼみや溝のない平らな場所でご使用ください。
使用前に歩行する範囲の通路面に穴やくぼみや溝などが無いことをご確認ください。

- 溝にタイヤがハマって動けなくなり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

段差のある場所で
使用しない

必ずおこなう

- 歩行器を段差のある場所で使用しないでください。

- 段差に歩行器が引っかかり、転倒によるケガ、歩行器の破損など思わぬ事故の原因になります。

坂道、傾斜面で
使用しない

禁止

- 坂道や傾斜面では使用しないでください。

- 走行が不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

敷居や敷物などの
上では使用しない

禁止

- 敷居や小さな段差などの障害物がある場所や毛足の長いじゅうたん、ござなど、
敷物の上では使用しないでください。

- 特に毛足の長いじゅうたんなど敷物の上、また、敷物の縁では歩行器の脚先が
引っかかりやすくなり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

公共場所での
使用に注意

必ずおこなう

- 公共交通機関(バス、電車)や、店舗などでの使用については、各交通機関や店舗などの
指示に従いご使用ください。

- また、車内では、歩行器を使用して歩行しないでください。

次の頁に続く

3. 使用場所についての警告と注意 (続き)

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

介助の方が
持ち運びをする

 **必ずおこなう**

- 階段などでは、必ず介助の方が歩行器を折りたたみ持ち運びしてください。高い場所への出し入れ、車などへの積み下ろしは、必ず介助の方がおこない、使用者ご自身での持ち運びはしないでください。

○使用者が転倒する、歩行器が転倒、転落するなど思わぬ事故の原因になります。

視界が悪い場合は
使用しない

 **禁止**

- 視界が悪い場合は使用しないでください。また、夜間などに使用する場合は、必ず介助の方が付き添い、十分注意してご使用ください。また、目立つ衣服の着用や市販の反射シールなどを歩行器に貼るなどして目立つようにしてください。

○転倒や他の通行物への衝突など思わぬ事故の原因になります。

階段・エスカレーターなど
で使用しない

 **禁止**

- 階段やエスカレーター、動く歩道などで使用しないでください。

○使用者が歩行器においていかれ、転倒や転落によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

路面状況が悪い
場所で使用しない

 **禁止**

- 濡れた床、タイル面などでは使用しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

浴室内で使用しない

 **禁止**


- 浴室内で使用しないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。また、浴室内の水分により金属部分のサビや、樹脂部の劣化を早める原因になります。

注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

店舗などで
使用する際の注意

 **必ずおこなう**

- 店舗などで使用する際には、店舗のルール、指示に従いご使用ください。また、他のお客様や商品、設備に接触しないように、十分にご注意ください。

* 店舗内でのトラブルにつきましては、弊社では責任を負いかねます。

交通量の少ない
場所で使用

 **注意**

- 交通量の多い場所では使用を避けるか、介助の方が付き添いご使用ください。

○通行者と接触し転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

室内での使用に
注意

 **注意**

- 一般家庭など、室内の限られたスペースで歩行器を使用する場合、歩行器が壁や家具などに当たる、ぶつかる、こすれる場合がありますのでご注意ください。ご使用の際に歩行器が壁や家具にぶつかる場合は、介助の方が付き添われるか市販のゴムシートなどで壁や家具を保護してご使用ください。

○歩行器が破損したり、壁・家具などがキズつく原因になります。

4. 修理、改造についての警告

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。



誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

交換修理について

- グリップ、タイヤ、脚先ゴム、脚先パイプなどは交換修理ができます。傷や摩耗、変形などが見られる場合は交換修理をおすすめします。交換修理につきましては、『アフターサービスのお問合せ先: 16頁』または発売元までお問合せください。

脚先を他タイプと併用しない



- 脚先パイプ(キャスター・ストッパー)は、この製品専用の部品です。他タイプの脚先アクセサリーとの併用や「セーフティーアームウォーカー(SAWR)ウォーカーハイタイプ(SAWHR)／ウォーカーミニタイプ(SAWSR)／ウォーカーSSタイプ(SAWSSR)」以外への取付けはしないでください。

○転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

パイプを曲げ戻さない (修理の禁止)



- 歩行時に脚先が溝や穴にはまり、転倒するなどして大きな力がかかった場合に、パイプが曲がることがあります。このときにパイプを元の状態に曲げ戻さないでください。
*パイプに変形、異常が現れた場合には、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先: 16頁』または発売元までお問合せください。

○アルミパイプの性質上、一度曲がったパイプを曲げ戻して使用すると、徐々にパイプに亀裂が入り、使用中に突然折れて、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

改造をしない



- 本体に穴を開けたり、他の部品を取付けたり、他の部品に取替えるなどの改造は絶対にしないでください。

○改造された製品は強度や安定性などの保証はできません。
また、改造された製品に不具合が起きても弊社での修理対応はできません。

異常が現れた時には (修理の禁止)



- 『お手入れの際のチェックポイント: 12～13頁』をご参照の上、ご使用前に各部を点検してください。万一、製品に破損、変形などの異常が現れた場合は、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先: 16頁』または発売元までお問合せください。
お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。
*お客様ご自身で修理をおこなった場合、弊社での修理対応ができなくなる場合があります。

5. 保管・保安上の注意

●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らず使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

注意

誤った取扱いをすると、使用者が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

折りたたんだ状態での注意

注意

- この歩行器は折りたたんだ状態では自立しません。折りたたんだ状態で置く場合は、歩行器が倒れないように壁などに立てかけてください。
- 歩行器本体の転倒により、そばにいる方がケガをされたり、歩行器や、周囲の物の破損など思わぬ事故の原因になります。

保管時の注意

注意

- 使用しない時は折りたたみ、収納保管してください。また、幼児や子供の手の届くところには放置しないでください。
- 通行する人が歩行器につまずいて転倒したり、誤って踏まれると変形、破損する原因になります。また、この歩行器で幼児や子供が遊ぶと、指、頭をはさむ、転倒してケガをするなど思わぬ事故の原因となります。

幼児や子供に注意

注意

- 幼児や子供は思わぬ行動をする場合があるため、この歩行器に近づけないよう十分にご注意ください。
- この歩行器は折りたたみができる構造ですので、幼児や子供がいたずらをしたりすると、指などをはさんだりしてケガをするなど思わぬ事故の原因となります。また、この歩行器で遊んだりすると、転倒してケガをするなど思わぬ事故の原因となります。

直射日光に注意

注意

- 保管時は、直射日光の当たらない室内に収納保管してください。
- 屋外に放置するとサビや紫外線による金属、樹脂、ゴムの劣化が進行しやすくなる原因になります。

保安上の注意

注意

- 非常口や消火器、消火栓の前には放置しないでください。
- 緊急時の避難や救助の妨げになります。

火のそばに置かない

禁止

- 歩行器を火(暖炉、ストーブ、ファンヒーターなど)のそばに置かないでください。
- パイプに触れてやけどをしたり、グリップや樹脂部分などが溶けて使用できなくなる恐れがあります。

濡れたまま放置しない

禁止

- 突然の雨や水はねなどにより濡れた場合は、乾いた布で水気を拭き取り、乾燥させてください。また、飲み物がこぼれる、消毒液がかかるなどして濡れた場合も、すぐに拭き取り、乾燥させてください。『お手入れの方法: 12頁』をご参照ください。
- 濡れたまま放置すると、金属部分がサビたり、樹脂部品の劣化(退色、亀裂)が進行しやすくなる原因になります。薬品などがかった場合、薬液の影響などで金属部分や樹脂部の劣化が早期に進行する可能性があります。

乱暴な取扱いはしない

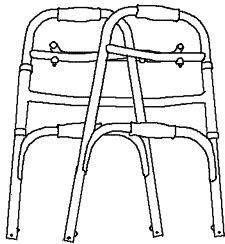
禁止

- 「歩行器を倒す」などの乱暴な取扱いはしないでください。また、「高いところから落とす」「壁や段差にぶつける」など、繰り返し強い衝撃が加わるような使い方はしないでください。
- パイプが変形して歩行器がガタつき、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。また、繰り返し強い衝撃が加えられると樹脂部分に破損を生じる恐れがあります。

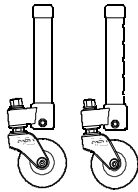
【ご使用前の準備】

『1. 内容物の確認』❶必ずおこなう

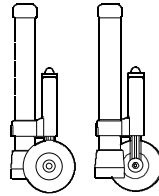
梱包箱から内容物を取り出して以下のものがそろっていることをご確認ください。
確認できましたら、4つのグリップの養生用ラップをはがしてください。



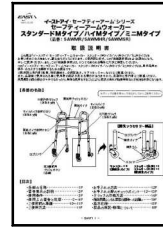
本体×1



キャスター×2
(前脚先パイプ)



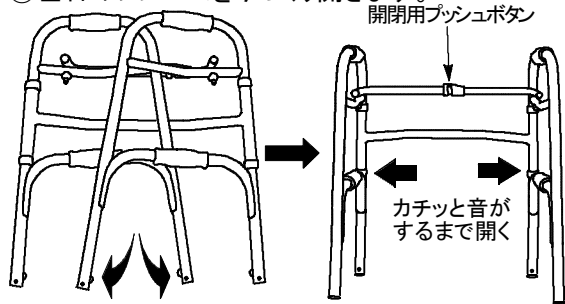
ストッパー(右用)×1
ストッパー(左用)×1
(後脚先パイプ)



取扱説明書(本書)

『2. 組み立て』

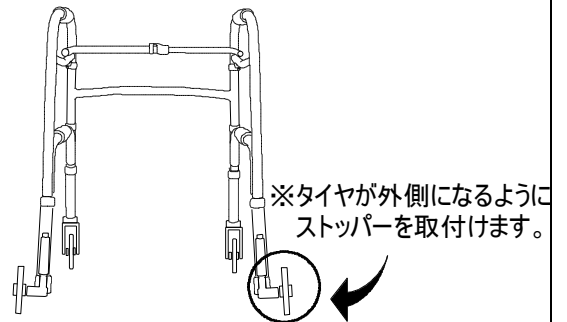
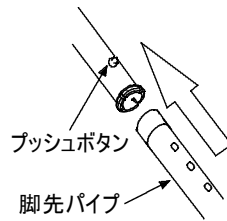
①左右のフレームをゆっくり開きます。



1. 本体フレームを開きます

2. 開閉押しボタンをロックします。

②本体脚の押しボタンを押しながら脚先パイプを差し込みます。



⚠ 注意

- 指をはさまないようにご注意ください。
- ストッパーには左右の違いがあります。タイヤが外側になるように取付けてください。

『3. 高さの調節』

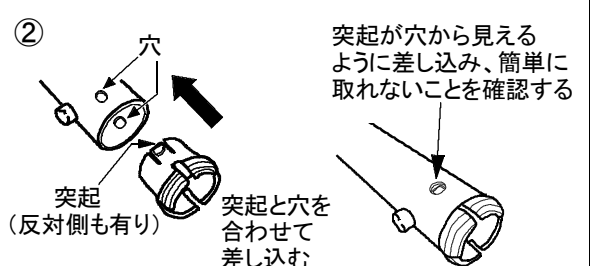
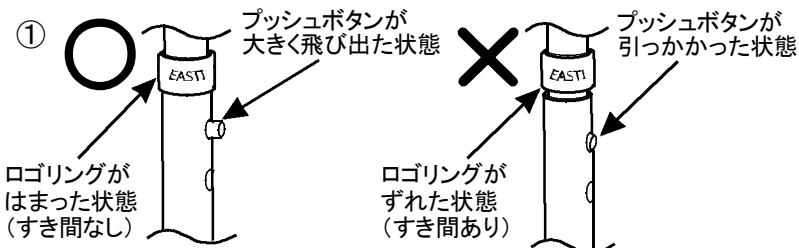
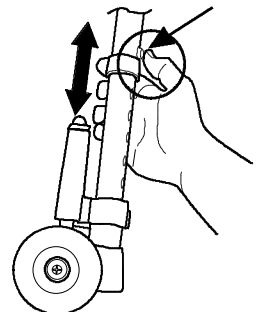
使用者に合わせて脚先パイプでグリップの高さを調節してください。

⚠ 警告 ⚠ 注意

- 指をはさまないようにご注意ください。
- 押しボタンが大きく飛び出した状態になっていることをご確認ください。(下図①参照)
- 脚先パイプは各脚とも同じ高さの穴位置に押しボタンをセットしてご使用ください。
- 高さ調節の際に、ロゴリングが脚先パイプからずれた場合は、ロゴリングを脚先パイプにはめ直してからご使用ください。(下図①参照)
- 脚先パイプを抜いた際、本体脚先の白樹脂が本体脚先からはずれている場合ははめ直してください。(下図②参照)
- 脚先パイプのロゴリングがずれていたり、本体脚先の白樹脂がはずれていると、カタカタ音がしたり、歩行器がガタつく原因になります。
この場合は、ロゴリングや白樹脂をはめ直してください。(下図①、②参照)

<高さ調節方法>

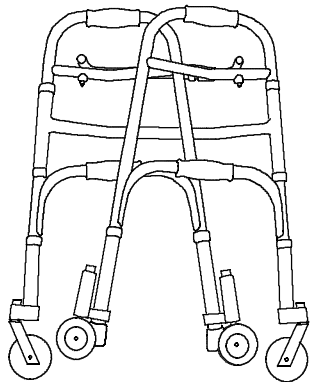
高さ調節用押しボタンを押しながら、脚先を上下にスライドさせます。



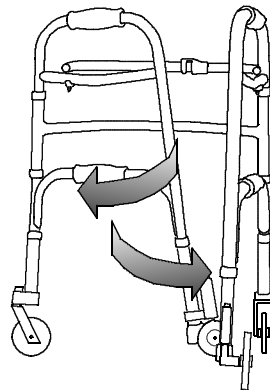
【ご使用前の準備】 続き・・・

『4. 開閉方法』（収納時は開閉用プッシュボタンを押して下図の逆の手順で折りたたんでください。）

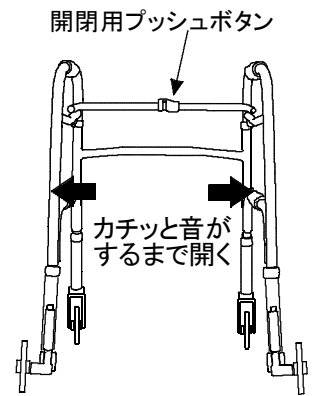
＜収納時から開く手順＞



1. 折りたたまれた(収納)状態。
* 収納時は倒れやすいので
ご注意ください。



2. 左右のフレームを
ゆっくり開きます。

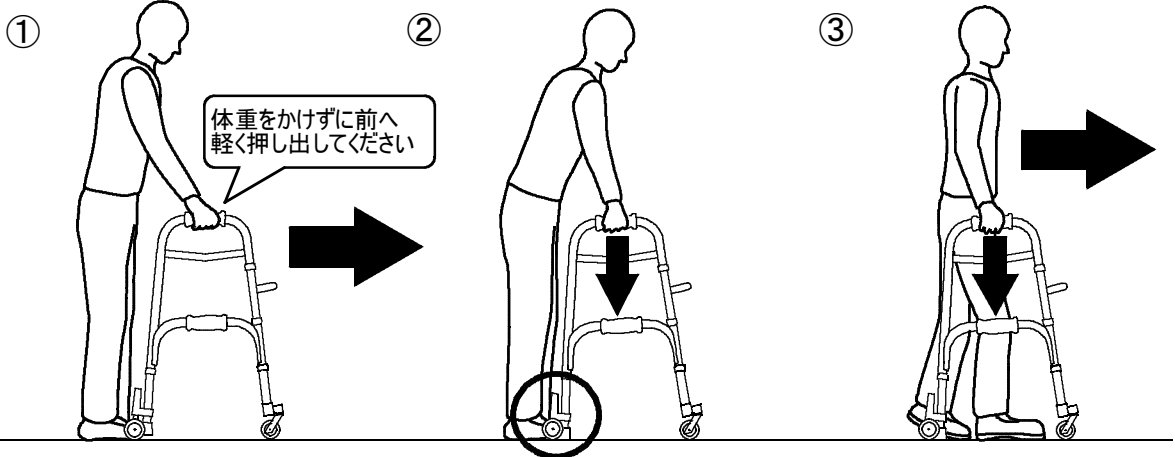


3. 左右のフレームを同時に開き、
開閉用プッシュボタンを
確実にロックします。
※ロックしない場合は、ゆっくりと2~3度
開閉操作を繰り返してください。

【ご使用方法】

*ご使用前にグリップの養生用ラップがはがしてあることを再度ご確認ください。

下の①～③までの動作を繰り返し、少しずつ歩行してください。



- ① 左右のグリップを握り、歩行器を軽く押すように前に少し動かします。 ② 左右のグリップをしっかり握り、真上から体重をかけて、左右の後脚ストッパーを作動させ、歩行器を確実に止めておきます。 ③ 左右のストッパーを作動させたまま、身体を少しずつ移動します。

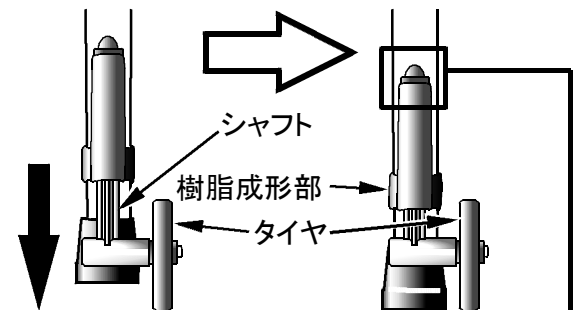
＜ストッパー部分拡大図＞

右図は、上図②の○部の拡大図です。
真上から力がかかることでストッパーが作動します。

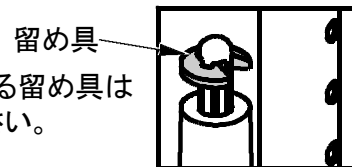


警告

- ストッパーを作動させたまま引きずったり、段差や溝にタイヤがタイヤがはまると、横方向からストッパーに大きな力がかかり樹脂成形部やシャフトが破損する恐れがあります。



体重をかける → ストッパーが作動する



- ストッパー上部にある留め具は取り外さないでください。

【お手入れの方法】

- * 汚れを落とす際は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞り、ふき取りしてください。
汚れのふき取り後は、乾いた布で水気をふき取り乾燥させてください。
- * タイヤの動きをスムーズにするため、定期的に車軸部に市販の自転車用機械油などを注油してください。
『お手入れの際のチェックポイント:12～13頁』をご参照ください。

お手入れの際の注意

●お手入れの際のケガには十分ご注意ください。

本体……………

●シンナーやベンジン、塩素系洗剤などは使用しないでください。
○樹脂部分や脚先ゴムが溶けたり、変色、変形する恐れがあります。

●金ブラシ・たわしなどは使用しないでください。
○アルミパイプ、その他樹脂部分がキズつきます。

●開閉パイプ取付けネジとサイドパイプ取付けネジのゆるみを定期的にご確認ください。
開閉パイプ取付けネジがゆるんでいる場合は、手でゆるめられない位置までナットをスパナで締め直してください。
* 開閉パイプ取付けネジを締め付けすぎると、動きが悪くなります。ネジを締め直した際に、動きが悪くなった場合には、少しゆるめて動きをご確認ください。
○ネジがゆるんだまま使用すると開閉パイプ・サイドパイプが脱落して歩行器が固定されずに不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

●フレームの一部・ボルト・ナット・カシメなどはスチール製です。
定期的に油を差すなどサビ止めの処置を行ってください。

●本体や、パイプ溶接部にキズや亀裂がないかを定期的にご確認ください。

グリップ……………

●グリップは、水または薄めた中性洗剤を含ませた布などで汚れを落としてください。
洗浄後は洗剤、水気をよくふき取ってください。
○汚れたまま、ぬれたまま放置すると樹脂やゴムが劣化する原因になります。

●シンナーやベンジン、塩素系洗剤などは使用しないでください。
○樹脂やゴムが溶けたり、変色、変形する恐れがあります。

●使用状況により取付けネジからサビがでる場合があります。
使用前に市販の防サビ剤などの塗布をおすすめします。

【お手入れの際のチェックポイント】



警告

誤った取扱いをすると、使用者が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

- 製品は使用とともに劣化が進みます。この取扱説明書をご参照の上、定期的に次頁の部分を中心に製品の各部を点検してメンテナンスをしていただきますようお願い申し上げます。
- この製品の保証期間は、ご購入日より**1年間**です。
なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいている製品につきましても、特に注意して定期点検をしていただき、点検の結果、製品に異常が見られる場合には、即時に使用を中止し、『アフターサービスのお問合せ先:16頁』または発売元までお問合せください。

＜消耗部品について＞

脚先ゴム、グリップ、キャスター、ストッパー、タイヤ、ネジ、ナット、バネなどは消耗部品です。
定期的に点検していただき、メンテナンスの際に摩耗や劣化、破損などがある場合は交換してください。

【お手入れの際のチェックポイント】 続き…

<①本体(パイプ)>

- ・パイプにキズや変形はないですか？
- ・開いた状態でガタつきはないですか？
- ・溶接部分に亀裂はないですか？

<②プッシュボタン>

- ・各プッシュボタンは大きく飛び出した状態に固定できますか？

<③グリップ>

- ・摩耗や変形はないですか？
 - ・ネジのゆるみはないですか？
 - ・グラツキはないですか？
- グリップの交換につきましては、『グリップの交換方法:14頁』をご参照ください。

<④ネジ・ボルト部分>

- ・ネジ・ボルトにゆるみはないですか？
- ・ネジ・ボルトに破損や脱落はないですか？

<⑤カシメ部分>

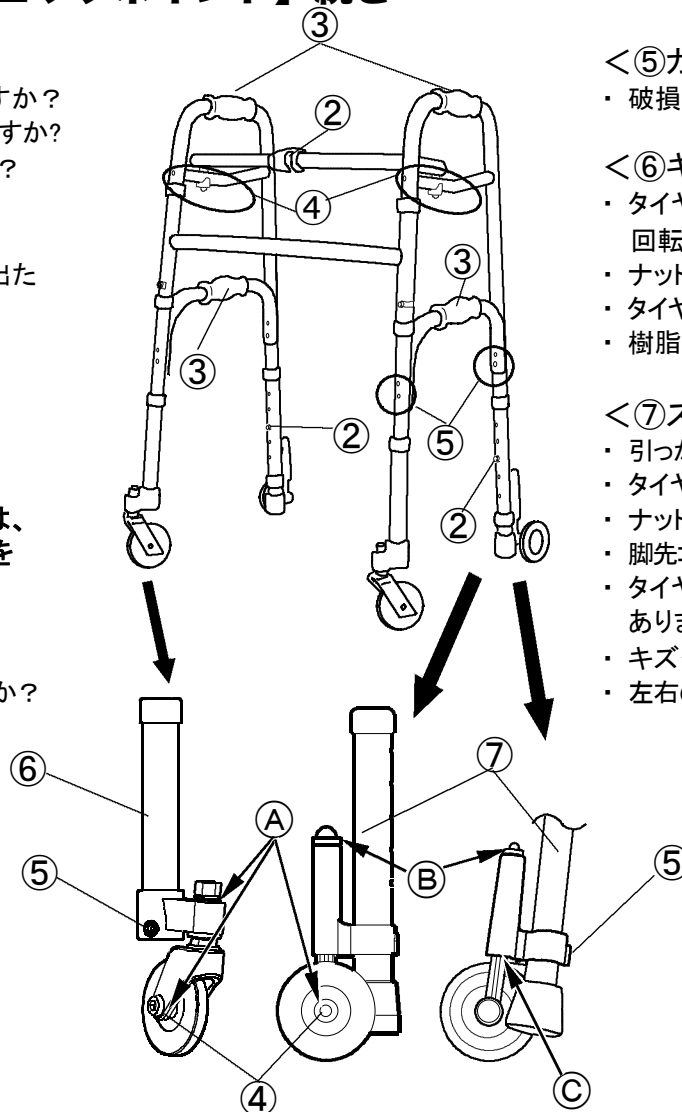
- ・破損や脱落はないですか？

<⑥キャスター>

- ・タイヤとフォークがスムーズに回転していますか？
- ・ナットはゆるんでいませんか？
- ・タイヤにすり減り、切れはありませんか？
- ・樹脂部にキズや亀裂はありませんか？

<⑦ストッパー>

- ・引っかけなくストッパーが作動しますか？
- ・タイヤがスムーズに回転していますか？
- ・ナットはゆるんでいませんか？
- ・脚先ゴムは奥まで差し込まれていますか？
- ・タイヤや脚先ゴムにすり減りや切れはありませんか？
- ・キズや亀裂はないですか？
- ・左右の取付け向きは間違いないですか？



警告 ●車軸に髪の毛やほこりなどがからまっていませんか？
○車軸が動かなくなり、タイヤが変形・摩耗します。
こまめにお手入れしてください。

<キャスター・ストッパーのお手入れについて>

- キャスター、タイヤの動きをスムーズにするために、定期的に①の車軸部分(軸受)に注油してください。
*タイヤに油がついた場合はふき取ってください。
- キャスター・ストッパータイヤ取付けネジがゆるんでガタつきがある場合は、ドライバーで締め直してください。
*締め付けすぎるとタイヤが回転しづらくなります。この場合には、少しゆるめて回転をご確認ください。
- ネジやボルトを締め直してもタイヤのガタつきが改善されず、歩行器が不安定な場合は、『アフターサービスのお問合せ先:16頁』または発売元までお問合せください。
- ストッパーの②の留め具ははずさないでください。
- ストッパーを作動させる際に、引っかけがある場合には筒の内側③に注油してください。
*油がたれる場合はふき取ってください。
- タイヤの車軸に髪の毛やほこりなどがからまっている場合は、取り除いてください。
- 特に屋外などで使用した後は、土・砂・泥などが付着してキャスター・ストッパーの回転が悪くなる場合があります。軽く水洗いをして土・砂・泥などを落として、乾いた布などで水気をよくふき取り、上記①部分に注油してください。

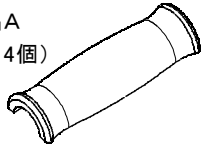
【グリップの交換方法】

「歩行用グリップ」「下段グリップ」は、交換用部品をご用意しております。グリップに摩耗や変形、ぐらつき、ネジのゆるみなどが見られた場合は「セーフティーアーム 交換用グリップセット(SAGPS)」をお買い求めいただき、交換していただきますようお願い申し上げます。お買い求めの際は、販売店または『製品についてのお問合せ先: 16頁』までお問合せください。

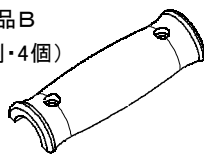
1. 部品内容

セーフティーアーム 交換用グリップセット(SAGPS)

部品A
(上側・4個)



部品B
(下側・4個)



グリップ取付けネジ(8個)



①必ずおこなう

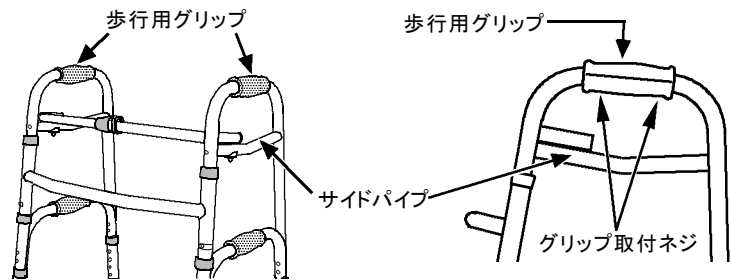
部品をお買い求めいただきましたら、左記のものがそろっていることをご確認ください。

2. 交換方法

『1. 古いグリップを取りはずす』

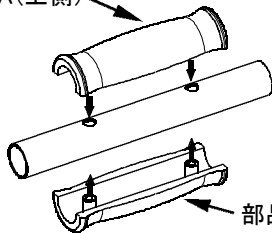
+ドライバーを使用して、グリップ取付けネジを取りはずし、古いグリップを取りはずします。

*歩行用グリップの場合、開閉パイプを支持するためのサイドパイプがあるため、長さの短いドライバー(約9cm以下)をご用意ください。

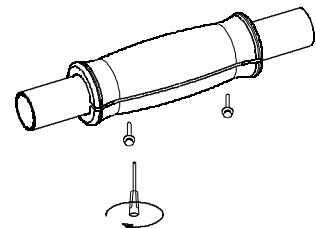
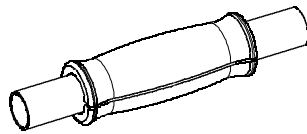


『2. 新しいグリップを取付ける』

部品A(上側)



部品B(下側)



①「部品A」はパイプ上側、「部品B」はパイプ下側(床面側)に取付けてください。

②「部品A」と「部品B」をぴったりあわせてください。

③ネジをまっすぐ差し込み、部品Aと部品Bの間にすき間やぐらつきがないように、取付けネジ2ヶ所を+ドライバーでしっかり締めつけてください。



●グリップを交換する前に、本体フレームパイプ、特に、グリップ取付け周囲部分のパイプに変形、亀裂などがないことをご確認ください。パイプに変形、異常が見られる場合には、即時に使用、交換を『アフターサービスのお問合せ先: 16頁』または発売元までお問合せください。

○パイプが変形したり破損するなど思わぬ事故の原因になります。

●取りはずしたグリップを、再度取付けしないでください。また、取付けたグリップに、すき間やぐらつきが見られる場合には、ネジの付け直しをせず、新しいグリップに交換し、付け直してください。

○グリップは、溝が切られていないネジ受けにネジを締め込むことでしっかりと固定されます。そのため、一度締め込んだネジを抜き、再度取付けると、ネジがゆるみやすくなり、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因となります。

●グリップを交換した後、グリップの部品A(上側)と部品B(下側)の間にすき間やぐらつきがないことをご確認ください。すき間やぐらつきが見られる場合には、ネジの付け直しをせず新しいグリップに交換し、付け直してください。

取付けがうまくできない場合は、使用せずに販売店または『製品についてのお問合せ先: 16頁』までお問合せください。

○不完全な取付けは、グリップがはずれるなど思わぬ事故の原因になります。

【基本仕様】

品名：セーフティーアームウォーカー ①スタンダードMタイプ ②ハイMタイプ ③ミニMタイプ

品番	使用時サイズ(幅×奥行×高さ)	重量	タイヤサイズ	使用者最大体重	材質
①SAWMR	62×54×73.5～83.5cm	3.5kg	前・後タイヤ： 3インチ	100kg	本体：アルミ (一部スチール) グリップ：合成ゴム 前後タイヤ：合成ゴム
②SAWMHR	64×54×82.5～92.5cm	3.7kg			
③SAWMSR	60×52×66～76cm	3.3kg			

